

Minyen Hsieh Japan Tour 2024

謝明諺

tenor, soprano sax, flute

栗林すみれ

piano

2024 06月17日(月)

開場 19:30

開演 20:00

(2ステージ入替無) (1drink 600 ~)

MC=3300+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



謝明諺 / Minyen Hsieh

<https://linktr.ee/minyenhshieh>

謝明諺、通称 (terry) は、1981年台北生まれ。19歳で自身のバンドを作りプロとしての活動を始めました。小さい時から音楽が大好きだった謝さんは、高校生の時からサクスを始め、すぐにジャズに恋をしてしまったそうです。謝さんにとってジャズとは、自由を表現する完璧な方法であり、自分自身にリアルであるためのものと言えるのだそうです。謝明諺は、台湾の色々なジャズのライヴハウスなどで活動後、ベルギーにあるブリュッセル王立音楽院で修士号をとります。そして、2012年に台中で行われたサクスのコンクールで優勝したことをきっかけに、台湾のジャズシーンの重要な人物へととなってゆきます。台湾の音楽賞での受賞は数多くあり、

台湾をベースに活動している日本人のバンド・東京中央線とコラボレーションしたアルバム『Lines&Stains』では、GMA 金曲賞で2019年のベストインストルメンタルアルバム賞を受賞。エレクトリック エクスペリメンタルグループである非/密閉空間では、2020年のGMA 金曲奨のベストインストルメンタルアルバム×プロデューサー賞を受賞しています。代表的な作品に、『Firry Path』(2014年)、『上善若水 As Good As Water』(2018年)、『爵士詩靈魂夜 A Soulful Night of Jazz Poetry』(2022年)。

最新作は2023年七月リリース、スガダイローと一緒に作った待望のコラボレーション・アルバム『Our Waning Love』!



栗林すみれ

埼玉県立芸術総合高等学校音楽科、尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科ジャズ&ポップスコース卒。2014年 JAZZAUDITORIA にてオープニング・アクトを飾り、その後3回に亘ってブルーノートトーキョーに出演。同年、行方均氏のプロデュースでサムシンクルレーベルからデビュー。1stアルバム”TOYS”がジャズライフ、ジャズジャパンなどに取り上げられ2014年ディスクグランプリニュースター賞受賞。2015年早くもセカンドアルバム”Travellin'”をリリース。2017年金澤英明との双頭リーダー作”二重奏”をローヴィングスピリッツから発売。2018年、総勢11名参加のアンサンブル作品”Pieces of Color”とピアノトリオ作品”the Story Behind”を二ヶ月連続リリース。ジャズライフ誌で表紙、巻頭特集でとりあげられる。同年、Yokohama Calling のプロジェクトに参加、ロンドンのホクストンホールでのリーダー公演が好評を博す。アンドリア(イタリア)でのソロコンサートも行う。トランベッター Niran Dasika とのデュオ、カルテット、また栗林すみれセクステットとしてオーストラリアのジャズフェスティバルに出演。一番印象的だったパフォーマンス (australianbookreview より)、フェスティバルのハイライト (CyberHalides Jazz より)、と評される。溝口肇のジャズアルバムへの参加や、NHKBS プレミアム『美の壺』でオリジナル曲が使用されるなど作曲やアレンジ方面の才能も発揮している。先人への敬意と幅広い音楽性の融合から紡ぎだされるオリジナル曲とインプロヴィゼーションは新たな世界を切り開きながらも心地よく、多くの聴衆の心をつかむ。